

発行日
2023年
7月16日



今週のお祈り
聖霊降臨後第7主日(特定10)特禱
主よ、憐れみの耳を傾けて、僕らの祈りをお聞きください。どうかその願いがかなえられるために、主の喜ばれることを願い求めさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

今日の聖書は「種を蒔く人」のたとえです。聖書からのメッセージもお読みくださいね！教会の庭にもいろいろな木や草花があります。最近また新たに花の苗を植えました。神さまのみ言葉もずっと蒔き続けることが大切ですね🌱

今週の聖書 マタイによる福音書 13:1-9、18-23

1 その日、イエスは家を出て、湖のほとりに座っておられた。2 すると、大勢の群衆が御もとに集まって来たので、イエスは舟に乗って腰を下ろされた。群衆は皆岸辺に立っていた。3 イエスはたとえを用いて多くのことを語られた。「種を蒔く人が種蒔きに出て行った。4 蒔いている間に、ある種は道端に落ち、鳥が来て食べてしまった。5 ほかの種は、石だらけで土の少ない所に落ち、そこは土が浅いのですぐに芽を出した。6 しかし、日が昇ると焼けて、根がないために枯れてしまった。7 ほかの種は茨の上落ち、茨が伸びてそれを塞いでしまった。8 ほかの種は良い土地に落ち、実を結んで、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍になった。9 耳のある者は聞きなさい。」18 「だから、種を蒔く人のたとえを聞きなさい。19 誰でも御国の言葉を聞いて悟らなければ、悪い者が来て、心の中に蒔かれたものを奪い取る。道端に蒔



聖書からのメッセージ 『種をまく人』 執事 高柳 章江

私たちが種を蒔いてたくさん収穫しようとするときには、まず、畑を耕して種が育つように準備をします。しかし、このたとえ話に出てくる種を蒔く人は、種を良い土地に狙いをさだめて蒔いているわけではなく、手に種をつかんで、あたりかまわずばーっと蒔いているようです。良い土地に蒔けば実を結んで 30倍から 100倍にもなるのですから、最初から良い土地だけに種を蒔けばいいように思いますし、たとえ話にでてくる人のやり方では種がもったいないような気がしてしまいます。しかし、イエス様が種にたとえたのは「神さまのみ言葉」つまり福音でした。福音は、選ばれた人にだけ与えられるものではなく、誰にでも与えられるものなのです。大事なことは、どこに蒔いたか、収穫はどれくらいあったかということではなく、蒔いた種の中には、かならず実を結ぶものがあると信じて種を蒔き続けることなのです。

かれたものとは、こういう人である。20 石だらけの所に蒔かれたものとは、御言葉を聞いて、すぐに喜んで受け入れるが、21 自分には根がないので、しばらくは続いても、御言葉のために苦難や迫害が起こると、すぐにつまずいてしまふ人である。22 茨の中に蒔かれたものとは、御言葉を聞くが、世の思い煩いや富の誘惑が御言葉を塞いで実を結ばない人である。23 良い土地に蒔かれたものとは、御言葉を聞いて悟る人であり、実に、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結ぶのである。」